

W-792 取扱説明書

W792-z-2211

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
下さいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

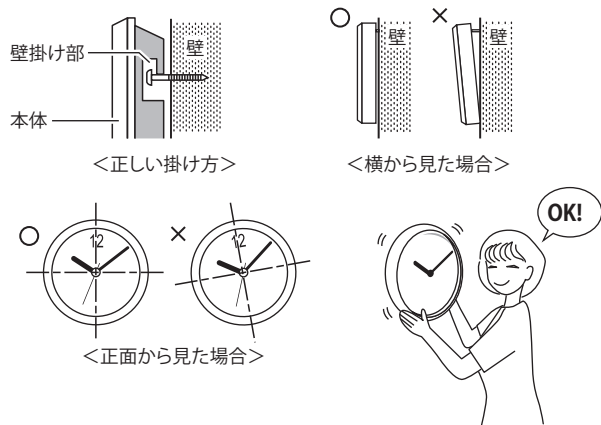
- 時間精度: 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25℃で使用した場合)
- 使用温度範囲: 0 ~ +40℃ ※結露なきこと (外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 使用推奨電池: 時計用 単3形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 1個
ライト用 単3形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 4個
- 電池寿命: 時計用 約12ヵ月 (単3形アルカリ乾電池1個使用の場合)
ライト用 約320時間 (単3形アルカリ乾電池4個使用の場合)
- 使用電源: 専用アダプター (ライト用)
入力: AC100V 50-60Hz 0.2A / 出力: 5V 1A
- 消費電力: 5W
- 自動点灯機能: 光センサーにより周囲が暗くなると自動的に
ライトが点灯します (AUTO モード)
- ライト (照明): ON/OFF 切替機能

時計の掛け方について

注意 掛け方が不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。
- 時計は垂直・水平に掛けて下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に働きません。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
- 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けないで下さい。
- 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けて下さい。
- 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。

※材質・構造が不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。



専用アダプターのご注意

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 必ず付属の専用アダプターを使用する
他のものを使用すると、故障や火災の原因になることがある。
- 専用アダプターを接続するときは、コンセントや配線機器の定格を超える使い方をしない
定格を超えて使うと、発熱や火災の原因になる。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んで使用する
差し込みが不完全だと、火災や感電の原因になる。
- 本体や専用アダプターから発熱・煙・異臭などがするときには、直ちに専用アダプターをコンセントから抜く
そのままですと、感電や火災の原因になる。
- 電源プラグおよびコンセントの差し込み口のほこりを定期的にとる
ほこりがたまると、絶縁不良となり、火災の原因になる。
- 使用中の専用アダプターがふれられないほど熱くなったときは、コンセントから抜いて使用を中止する
- 電源プラグは主遮断装置であり、万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見え、容易に手が届く位置にあるコンセントに接続する

- 専用アダプターを布団などでおおった状態で使わない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがある。
- 雷が鳴りだしたら、本機や専用アダプターにふれない
感電の原因になる。
- ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
ケーブルが破損して、感電や火災の原因になる。
- 専用アダプターやケーブルが痛んだときは使用を中止する
そのまま使用すると、感電や火災の原因になる。
- 電源コードを束ねたり、結んだ状態で使用しない

注意 障害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 長時間使用しないときは、専用アダプターを取り外す
安全のため専用アダプターを取り外す。
- 専用アダプターのケーブルを引っ張らない
断線を防ぐため、コンセントから抜くときは、専用アダプター本体を持つ。
- 使用中の専用アダプターに長時間ふれない
低温やけどの原因になる。

故障かな?と思ったときには...

※製品が正常に作動していないときは修理を依頼する前に下記を参考にお確かめ下さい。

時計が動かない

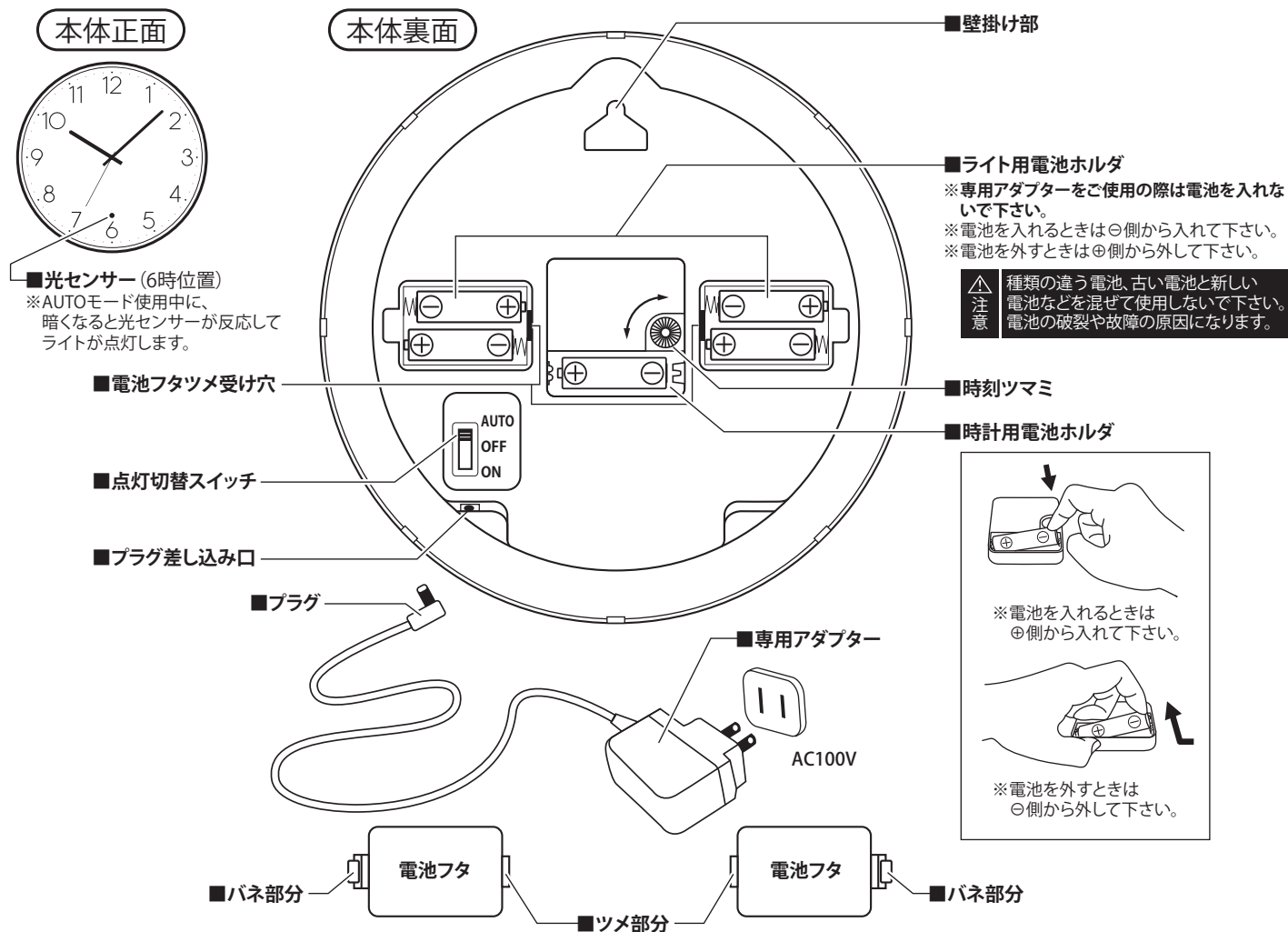
考えられる原因	処置
電池容量が無い 電池が入っていない 電池が正しい向きで入っていない	時計用電池を、電池の⊕⊖の向きを確かめて、新しい電池に交換して下さい。
電池端子の接触不良	端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。

時計が止まる、または遅れる

考えられる原因	処置
電池容量が少ない	時計用電池を、新しい電池に交換して下さい。

ライトが点かないライトがちらつく

考えられる原因	処置
点灯切替スイッチが [OFF] の状態になっている	[AUTO] または [ON] の状態で使用して下さい。 ※ [AUTO] は本書 自動点灯機能について を参照して下さい。
専用アダプターのプラグがしっかり差し込まれていない	プラグが差し込まれていることを確認して下さい。 ※専用アダプターで使用中は、ライト用電池ホルダに電池を入れなくて下さい。
光センサーが反応していない (AUTOモード使用時)	周囲の明るさを確認して下さい。
[ライト用電池を使用の場合] 電池容量が少ない 電池が正しい向きで入っていない 電池容量が無い	ライト用電池の、⊕⊖の向きを確かめて、同じ種類の新しい電池に4個同時に交換して下さい。



ご使用方法

時計の使い方

- ① 時計用電池ホルダに単3形乾電池1個をの⊕⊖の表示に合わせて入れて下さい。
※電池を入れる際は、必ず電池ホルダに表示されている⊕⊖の向きをご確認下さい。
- ② 時刻ツマミを回して現在時刻に合わせて下さい。

ライト(照明)機能の使い方

<専用アダプターを使用する場合>

- ① プラグ差し込み口に、専用アダプターのプラグを差し込んで下さい。
 - ② 専用アダプターをコンセント(家庭用電源AC100V)に差し込んで下さい。
 - ③ 点灯切替スイッチをご使用に合わせて設定して下さい。
- ※本書「自動点灯機能について」と「ライト(照明)機能について」を参照して下さい。
※ライト機能を長時間使用したいときには、専用アダプターを使用する事をお勧めします。
※専用アダプターご使用中は、ライト用電池ホルダに電池を入れしないで下さい。

<電池を使用する場合>

- ① ライト用電池ホルダの電池フタの2か所のバネ部分を押しながら開けて、単3形乾電池4個を⊕⊖の表示に合わせて入れ、ツメ部分を電池フタツメ受け穴に差し込み電池フタを閉じて下さい。
- ※種類の違う電池、古い電池と新しい電池などを混ぜて使用しないで下さい。電池の破裂や故障の原因になります。

電池の交換について

- 時計用電池容量が少なくなると、秒針の進みが目に見えて遅くなります。このような場合は、速やかに新しい電池に交換して下さい。
 - ライト用電池容量が少なくなると、ライトの光量が少なくなったり、チラツいたりします。このような場合は、速やかに同じ種類の新しい電池に4個同時に交換して下さい。
- ※買い置きを電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により、電池寿命が短くなることがあります。
※時計が動いていても、時計用電池は製品仕様欄に記載の電池寿命を目安に定期的に交換して下さい。

自動点灯機能について (AUTOモードについて)

本製品は、点灯切替スイッチをAUTOにすると、文字板面に組み込まれた光センサーによって明るさを感じて、周囲が暗くなると自動的にライトが点灯します。
※日中や夜間の照明時などでも、周囲の明るさが不足しているとライトが点灯する場合があります。
※長期間ライトを使用しないときは、ライト用電池ホルダから電池4個を外して下さい。
※専用アダプターご使用中は、ライト用電池ホルダに電池を入れしないで下さい。



ライト(照明)機能について

本製品は、点灯切替スイッチをONにすると、ライトが点灯します。OFFにすると消灯します。(自動点灯機能もOFFになります)
※長期間ライトを使用しないときは、ライト用電池ホルダから電池4個を外して下さい。
※専用アダプターご使用中は、ライト用電池ホルダに電池を入れしないで下さい。

